

VISUALIZE THE FUTURE



2023年3月期 第3四半期

決算補足説明資料

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2023年2月9日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

会社概要	3
2023年3月期 第3四半期決算ハイライト	
業績ハイライト	4
損益計算書	5
事業別／分野別売上高	6
貸借対照表	7
2023年3月期 第3四半期トピックス	8
2023年3月期 通期業績予想	10

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長CEO 山本 達夫 代表取締役社長COO 大澤 剛
資本金	1,838百万円
連結従業員数	69名(2022年4月1日現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

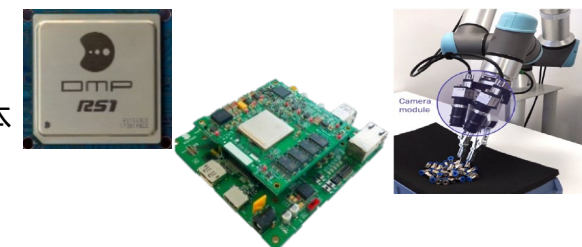
IPコアライセンス事業

- ・AI/GPU IPコアライセンス
- ・AIソフトウェアライセンス



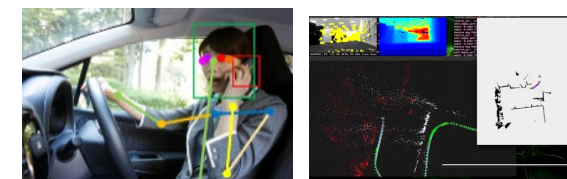
製品事業

- ・アミューズメント市場向け画像処理半導体
- ・AI FPGAモジュール
- ・協働ロボット向けビジョンシステム



プロフェッショナルサービス事業

- ・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発
- ・FPGA/ボード受託開発
- ・安全運転支援システム、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート



- 第3四半期累計の売上高は過去最高を達成。営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失も前年同期から改善。第3四半期(10~12月)は営業利益41百万円
- ロボティクス分野は、顧客開発案件が過渡期にあり、プロフェッショナルサービス事業が減少も、アミューズメント分野が大幅増収、セーフティ分野はOTA※1案件によりリカーリングビジネスが拡大

全社	事業別売上高	分野別売上高	
売上高	IPコアライセンス	セーフティ	ロボティクス
1,579 百万円 (YoY※2 +23%)	158 百万円 (YoY +19%)	117 百万円 (YoY +51%)	86 百万円 (YoY △56%)
経常利益	製品	アミューズメント	その他
△58 百万円 (YoY +31百万円)	1,343 百万円 (YoY +41%)	1,291 百万円 (YoY +40%)	83 百万円 (YoY △1%)
	プロフェッショナルサービス		
	78 百万円 (YoY △59%)		

※1 OTA(Over-the-Air): 無線通信を経由してデータ(ソフトウェア)を送受信する技術。エンドユーザー車両にすでに搭載されているドライブレコーダーに、当社のソフトウェアを無線で実装

※2 YoY(Year on Year): 前年同期比

主に製品事業拡大により増収。10~12月は黒字化

(単位：百万円)	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減額
売上高	1,279	1,579	+300
営業利益	△91	△60	+30
経常利益	△90	△58	+31
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△91	△60	+31

- アミューズメント分野を中心にした製品事業拡大により、売上高は23.5%の増収
営業損失は30百万円改善。第3四半期(10~12月)は、OTA案件による高利益率
リカーリング収益の拡大もあり、黒字転換(営業利益41百万円)
- 経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失は、ともに31百万円改善

● 事業別売上高

IPコアライセンス事業 158百万円 前年同期 132百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンス・サポート収入等を計上

製品事業 1,343百万円 前年同期 955百万円

- RS1の量産出荷を継続するとともに、業務用車両の周辺監視用途ZIA C3キット量産出荷売上、量産ドローン向けカメラモジュール、Cambrianビジョンシステムの売上を計上

プロフェッショナルサービス事業 78百万円 前年同期 191百万円

- セーフティ、ロボティクス、アミューズメント分野の受託開発サービス収入を計上
- ロボティクス分野顧客の研究開発が過渡期にあり、案件が減少

● 分野別売上高

セーフティ分野 117百万円 前年同期 78百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益(OTA含むランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー)、プロフェッショナルサービス収入を計上
- 業務用車両の周辺監視用途ZIA C3キットの量産出荷売上を計上

ロボティクス分野 86百万円 前年同期 196百万円

- 量産ドローン向けカメラモジュール、Cambrianビジョンシステム売上計上
- 顧客の研究開発が過渡期にあり、プロフェッショナルサービス事業が減収

アミューズメント分野 1,291百万円 前年同期 919百万円

- RS1の量産出荷売上を計上

その他分野 83百万円 前年同期 85百万円

- 主にデジタル機器向けのAI/GPU IPランニングロイヤリティ、IPメンテナンス/サポート収入を計上

自己資本比率は85.5%と高水準を維持

(単位：百万円)	2022年 3月末	2022年 12月末	増減額	主な内訳
流動資産	2,784	3,097	+313	売掛金及び契約資産 +279 現預金 +37
固定資産	688	459	△228	投資有価証券 △199 ソフトウェア △15
資産合計	3,472	3,557	+85	
流動負債	358	499	+140	買掛金 +151
固定負債	18	18	+0	
負債合計	376	517	+140	
純資産合計	3,095	3,039	△55	利益剰余金 △60
負債・純資産合計	3,472	3,557	+85	

セーフティ

安全安心社会の実現

- エンドユーザー車両にすでに搭載されているドライブレコーダー向けOTAにより、高利益率のリカーリングビジネスが拡大
- より広義のセーフティ向けのPoC案件が複数進捗



ロボティクス

製造業、運輸業等における省力化・省人化に貢献

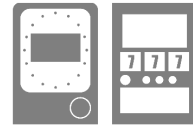
- Cambrianビジョンシステムの用途/エコシステム拡張
- Stereo Vision IP「ZIA SV」の提供を開始
AMDザイリンクス アダプティブコンピューティングデバイスと組み合わせることによって、ロボット全般(自律走行ロボット、協働ロボット等)向けに、高速且つ高精度な距離推定のステレオビジョンを実現

強みを活かした
差異化・高付加
価値化を推進

アミューズメント

美しい映像表現の実現と 遊技機筐体コストの削減を両立

- RS1を搭載したジグ(サミーとユニバーサルエンターテインメントの合併会社)の筐体の販売が10機種10万台を突破
- 当社のユニークな2D・3D統合チップの優位性を発揮できる市場セグメントにおけるシェア拡大、新規顧客参入を目指す



AI/GPU IP

顧客SoCに最適な小サイズ、 低消費電力、高性能なIPの提供

- 既存IP/顧客からの安定的なランニングロイヤリティ獲得、新規案件の商談進捗
- 高性能の次世代AIプロセッサIP開発中

高認識率、外乱光に対するロバストネス等の競争優位性を強みに、商談拡大、用途開発を推進

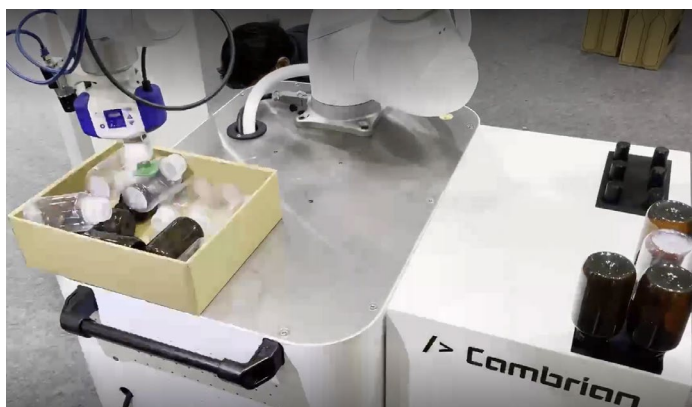
● 製造業におけるビジネス案件拡大、刈り取り

- 自動車産業を中心とした製造業等の最終顧客の省人化や生産性向上に向けたビジネス案件が進捗
- 第4四半期は案件刈り取りにより、売上拡大を見込む

● 用途/エコシステム拡張

- 住友商事マシネックスが国内総代理店として取り扱う韓国Doosan Robotics, Inc.製協働ロボットに対応
- 三品産業(食品、医薬品、化粧品)向けを企図したボトル供給の自動化デモを開発。第7回ロボテック ロボット開発・活用展(1月25日~27日)の住友商事マシネックス展示ブースにおいて、他社製品では認識困難な透明体を使ったデモの実環境への適合性が注目を浴びた

CambrianビジョンシステムとDoosan製協働ロボットの連携デモ



バラ積み状態の透明なペットボトルを認識、バキュームピックアップ



後工程へ移送



所定位置に整列

5月13日公表の通期業績予想に変更なし

(単位：百万円)	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 第3四半期実績	2023年3月期 通期予想
売上高	1,667	1,579	2,370
営業利益	△126	△60	25
経常利益	△122	△58	25
親会社株主に帰属する 当期純利益	△157	△60	20

- 第3四半期累計の売上高進捗率(対通期予想)は67%。第3四半期(10月~12月)は黒字転換
- 第4四半期は、アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、セーフティ分野におけるライセンス収入やプロフェッショナルサービス収入、ロボティクス分野における省人・省力化に資するCambrianビジョンシステム等の製品売上拡大、その他分野における高利益率のGPU IPライセンス獲得、デジタル機器向けのAI/GPU IPランニングロイヤリティ収入を見込む

<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。